

# 山口市議会報告

地域政党  
やまぐらの風

Yamaguchi City Council Report

vol.25

発行責任者 竹中一郎  
山口市議会議員

## たくさんの交流が生まれる“まち”へ

### ～市民交流棟へのストリートピアノ設置、広場へのカフェ誘致等を提案～

人口減少が一層進んでいく中、これからのまちにとって必要なのは「交流」ではないかと思っています。気軽に集い、話していく中で、まちへの愛着、まちの将来も見えてくると期待しています。

令和6年 第3回山口市議会定例会 **質問と答弁**

#### 新本庁舎市民交流棟や 広場の活用について



本庁舎及び市民交流棟イメージパース

##### ▶質問

新本庁舎市民交流棟や広場についてどのように活用していくのか、現時点での活用イメージや具体策について伺う。山口情報芸術センターYCAMでは「かていんピアノがやってきた@YCAM」という、ピアニストの角野隼斗さんのアップライトピアノを誰でも自由に弾くことができる期間限定のストリートピアノ形式のイベントが開催され、心地よい音色が館内に響き渡り、誰かが弾き終わると自然と観客から拍手が起こり、品格ある交流が生まれていた。市民交流棟にストリートピアノを設置することを提案し、所見を伺う。

##### ▶答弁

新本庁舎市民交流棟では、カフェやコンビニの設置のほか、ミニコンサート、市民の作品やちょうちん祭り等の展示、市民ライブラリーで本による交流、市内各地域のアンテナショップ、市政情報の発信スペース等の活用を想定している。また、広場では、マルシェの開催やキッチンカーによる販売、祭りのイベントやパブリックビューイングの他、屋外ヨガ等の健康づくりの場や子どもの遊び場等の活用を想定している。カフェや広場でゆったりと過ごせる憩いの空間であるとともに、休日には幅広いイベントを開催する等、活発な空間を提供し、賑わいやたまり空間としての機能を発揮させながら、市民はもちろん市外からお越しになる方も交流が生まれ、そこから新たな活動やイベントが創造されていくような活用を目指している。

市民交流棟へのストリートピアノの常設については、本庁舎等への音漏れによる窓口サービスや執務への影響、また、障がいのある方の中には音に敏感な聴覚過敏の特性をお持ちの方もおられることから、開庁時間内の演奏には考慮すべき点があると考えている。しかし様々な交流を生み出すきっかけになると理解しており、ミニコンサート等も同様、閉庁日の利用や開催を前提として、ストリートピアノ設置の可能性を検討する。

#### 広場への民間活力の導入による カフェ等の誘致について

##### ▶質問

山口市は中央公園に隣接してカフェを誘致し、大変賑わっている。広場のパークロード沿いの辺りに、民間活力の導入でカフェ等の誘致について考えを伺う。

##### ▶答弁

基本設計において、市民交流棟の中にカフェを設置する構想もあり、そこで購入したものや、近隣の店舗で購入したものを広場で食べながら、飲みながらゆっくりと楽しく過ごしていただく活用もできると考えている。広場にはキッチンカーに来てもらうことも基本設計の中で想定している。

##### ▶議会での主張

平日のみならず、週末にも交流と賑わいが生まれなければ、何のために山口都市核、亀山周辺ゾーンに新本庁舎を整備するのかわからない。広場ではなく、平面駐車場にすべきとの意見もある中、費用対効果について疑問視する声もある。新本庁舎整備による市民交流棟及び広場の活用によって賑わいを創出すること、山口駅から商店街におけるウォークラブルなまちづくりを進め、さらに、早間田交差点の改良によりパークロード周辺へ人の流れが生まれることで、本市の顔にふさわしい山口都市核の亀山周辺・中心商店街ゾーンが実現するよう要望する。本当の賑わいはハード整備のみで創出できるものではなく、次の世代においても、山口都市核が山口の顔として誇れる“まち”となるよう、また、私たちが持つ“まち”への愛着や誇りが次の世代に受け継がれていくよう、不断の取組を期待する。



広場及び立体駐車場イメージパース

Achiro's Eye  
気づいたこと感じたこと

#### 賑わいづくりに“カフェ”が必要では!

北九州市役所に隣接する勝山公園ではカフェが設置されています。公園空間とカフェの相乗効果により、あらゆる世代で公園が利用され、賑わいが創出されています。民間活力導入の一つとして、例えば、新本庁舎広場内のパークロード沿いに民間事業者が経営するカフェを設置する等の空間づくりを行えば、より賑わいの創出につながっていくものと考えます。

## 山口県農業試験場跡地利用 について

### 検討状況について

#### ▶質問

跡地利用基本計画の策定に向けた検討状況及び交通渋滞対策の検討状況について伺う。

#### ▶答弁

導入する機能やゾーニングの考え方に基づき、跡地利用基本計画素案の検討、取りまとめ作業に鋭意取り組んでいる。山口商工会議所から本市へ要望書が提出され、中心商店街と大内地域とが連携できる形での民間活力の導入、また、雨水排水対策や交通渋滞対策といった諸課題に取り組むこと、まずは、大内地域の交流活動施設の整備までを実施し、調整池等の雨水排水対策が十分な対策となるか検証を踏まえ、長期的な視点で検討を行い、市全体や県の発展に寄与する跡地利用を求められた。

跡地周辺の交通渋滞対策については、短期的な対策として、これまで実施された迂回看板の設置による県道山口防府線から国道262号への交通転換や県道山口防府線に中央ゼブラゾーンを設置することで車両通行量の減少や通行速度の上昇といった一定の効果が見られたことから、今年度も引き続き実施に向けた検討がなされている。また、中長期的な対策として、都市計画道路の必要性の検討のほか、公共交通への利用転換やカーナビによる渋滞情報の提供といった、幅広い手法で交通需要をコントロールする交通需要マネジメントの検討等を進める。



迂回看板設置

中央ゼブラゾーン

#### ▶議会での主張

県と市の担当課による協議内容は、可能な範囲で速やかに市民に開示することを要望する。

## 河川治水課の新設による 雨水排水対策について

#### ▶質問

今年度、県において、雨水排水対策の検討に要する既存水路の詳細測量等を実施することだが、その結果を踏まえ、今後どのような対策が考えられるのか伺う。

#### ▶答弁

今年度、県において雨水排水対策の検討に要する流末水路を含む既存水路の詳細測量等が実施され、雨水排水に係る基礎資料が整うものと考えている。具体的な雨水排水の方策等については、今後実際の跡地利用を想定する中で検討が進むものと考えている。跡地内の既存水路の詳細測量と、跡地の高低や傾きなどをドローンを使用して把握する3次元測量、また、跡地からの流末水路の測量やその系統図の作成などを実施すると伺っている。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

#### ▶議会での主張

跡地周辺は内水氾濫による浸水被害が発生している。河川治水課が新設されたこともあり、跡地が開発された場合に限らず、しっかり調査・研究し、雨水排水対策に努めて欲しい。

## 大内地域交流活動拠点の 早期整備について

#### ▶質問

跡地における地域交流センターやグラウンド、緑地といった大内地域の交流活動拠点の早期整備が可能なか伺う。

#### ▶答弁

地域交流センター等の早期整備については、整備手法の一つとして理解しているが、現在は跡地の利用に係る事業手法等を含む跡地利用基本計画素案の検討、取りまとめを県とともに進めている状況であり、地域交流センター等の具体的な整備の時期については、事業全体を見据えながら、県との協議を重ねる中で検討する。

#### ▶議会での主張

跡地利用基本計画は令和6年10月頃の策定・公表とされているが、さらなる議論を重ねる必要があれば遅れても良いと考える。ただ、地域要望の交流活動拠点については、現在の施設が老朽化していることもあり、早期整備を要望する。

## 交通安全施設の整備について

#### ▶質問

直接的な渋滞緩和策とは言い切れないが、道路環境整備の一つ一つが通行しやすい市道ネットワークとして活かせることで渋滞緩和に繋がれば良いと考えている。既存市道を安全に通行するためには、交通安全施設の整備も非常に重要な取組であり、大内下市橋の歩行者の安全通行のために「考えられる具体的な整備内容」について3月議会で伺った。「道路銀やイメージハンプの設置について検討していきたい」旨を答弁されたが、その後の対応状況について伺う。

#### ▶答弁

下市橋については、片側に車道外側線を設けて歩行エリアをグリーン化しており、特に、離合の際には、歩行エリアに進入しながら通行する車両がある。そこで、歩行者の安全確保を第一として検討した結果、歩車道を分離する構造物の設置は難しいことから、ペイントによって、歩車道の境界ブロックがあるように見えるイメージハンプを外側線に沿って、片側に一定間隔で8箇所設け、外側線上に3箇所、自発光式の道路銀を設置した。さらに、橋梁に差しかかる手前の路面に「歩行者注意」の標示を施した。これらにより、特に、歩行者の安全性が向上することを期待する。



歩行エリア(昼)



歩行エリア(夜)

「歩行者注意」標示

#### ▶議会での主張

跡地利用の状況を踏まえながら、交通渋滞対策の具体化に向けた検討を進めるべきと考えるが、道路改良工事や新規整備となると、相当な時間と費用が必要となる。そこで、少しでも渋滞緩和に繋がるように、市において早期に対応できる道路の安全対策を要望する。

